

2022 年度 聖路加国際大学 看護学部 一般選抜 A 方式 2 次試験

小 論 文

受験番号 _____ 氏名 _____

以下の文章は為政者（政治を行う者）の場合を例にあげ、「寛容」について述べたものである。これをふまえ、「寛容」について、あなたの考えを述べなさい。また、なぜそのように考えるかについて、あなたの体験や見聞きしたことを例にあげながら、論じてください。（文字数 600～800 字）

今日の社会に必要な理念の一つ、それも重要なそれは「寛容」ではないか。

例えば為政者の場合、こうした非常時の事後評価に常に付きまとうディレンマがある。それは「あのときなすべきでなかったことをした」と「あのときなすべきであったことをしなかった」という肢の間に起こるディレンマである。それに対して、私たちは、厳しい批判をぶつけがちである。正当な吟味による批判がなければ、社会は前に進めないが、しかし、そこには「寛容」が求められるのでもある。為政者は上のディレンマに基づくいわれのない非難をも受け入れる寛容さが必要である。評価する側にも、人間は常に「ベスト」の選択肢を選ぶことのできる存在ではないことへの理解が必要とされるだろう。（中略）

今回のウイルス禍によって、社会のなかに少しでも、こうした「寛容」を受け容れる余地が広がるとすれば、不幸中の幸いではなかろうか。

【出典】村上陽一郎「COVID-19 から学べること」『コロナ後の世界を生きる—私たちの提言』（岩波新書 2020）67, 68 頁より抜粋

小論文(答案用紙)

受験番号 _____

氏名 _____

100

200

300

400

500



2022年度 聖路加国際大学 看護学部 一般入学試験 A方式

小論文

作題の意図

寛容とは、人をゆるし受け入れること、咎めだてしないこと、異端的な少数意見発表の自由を認め、そうした意見の人を差別待遇しないこと（広辞林）であり、本学のアドミッションポリシーの達成に必要な理念であると考え。とくに、「人と人との関わりを大切にし、協働できる人」とは、異なる意見や価値観を受け入れ、相手の失敗を咎めず、どうすればよりよくなるかを一緒に考えることのできる人であると考え。さらに、「世界の人々の健康に関心」を向ける際には、異なる文化や習慣、宗教を拒絶せず、理解し、受け入れる姿勢が求められると考える。

上記の理由から、本学で学ぶ学生にとって、「寛容」は重要な理念であると考え、この設問案を作成した。引用は為政者の場合の例だが、例を発端として思考し、他者に対し寛容であること、すなわち、多様な価値観や考えを受け入れること、他者の失敗や過ちを咎めずゆるすことについて、自身の経験や見聞きしたことをふまえ、自らの考えを論述してもらう内容とした。

以上